

令和8年度 愛知教育大学入学試験問題

標準的解答例または出題の意図及び評価の観点

【前期日程】

科目名：外国語(英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ 論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)

(解答例)

I

- 問1 パソコンやタブレットなど他の機器がそばにある場合、スマートフォンを片付けてもソーシャルメディアを見る時間は減らない。
- 問2 彼らはスマートフォンに費やすはずだった時間を、代わりにノートパソコンでソーシャルメディアなどの娯楽を楽しむことで補った。
- 問3 ひとつのことに十分に集中しないと、作動記憶の情報は処理されて長期記憶に移る前に消えてしまうということ。
- 問4 taken in
- 問5 ほんの一瞬でも心に余裕ができると、ポケットに入っている何でも解決してくれるもの(スマートフォン)に手を伸ばしてしまうということ。
- 問6 スマートフォンのアプリによって、私たちの脳が注意散漫になるように訓練されたため。

II

- 問1 (i) b (ii) a (iii) f (iv) c (v) g
- 問2 好奇心を持ち続け、科学がどこへ導こうとも探求し続ける心構え(予想外の方向に進んでも追究する姿勢)。
- 問3 休暇中にペトリ皿を片付け忘れたことで、培養菌にカビが入り込み、そのカビが細菌の成長を抑えていたという出来事。
- 問4 小さな鉤(かぎ)のある種子が毛皮や衣服に簡単に、しかもしっかりとくっついたことに気づいたこと。
- 問5 膵臓を取り除くと糖尿病になるということ(別解：膵臓と糖尿病には関係があるということ)。
- 問6 lead to (別解：result in)

III

- Q1 1, 2, 3, 7, 10
- Q2 (i) 6 (ii) 7 (iii) 1 (iv) 5 (v) 2
- Q3 (出題の意図)

本問では、一定量の英文を読み、その要旨を把握する力と、その内容を適切に言い換えて表現する力を問う。

IV（出題の意図）

本問では、「課題に AI を使用する理由」に関する調査結果について、(1) その要点と、(2) それに対する自分の考えを、あわせて 200 語以上の英語で論述させることにより、基本的な英語表現力、文章の要約力、および論理的表現力を問う。